

第36回東日本手外科研究会  
ハンズオンセミナー2

# HTS Stellar P/D プレートによる 橈骨遠位端骨折骨接合術ワークショップ -術前計画の実践-

**日時** 2022年3月5日（土） 15:00～16:00

**会場** つくば国際会議場 中会議室202

本ハンズオンは、諸般の事情により器械展示と指定時間のスライド上映とさせていただきます。ご都合のよい時間にお立ちよりいただき、骨モデルを用いてご体験いただければ幸いです。

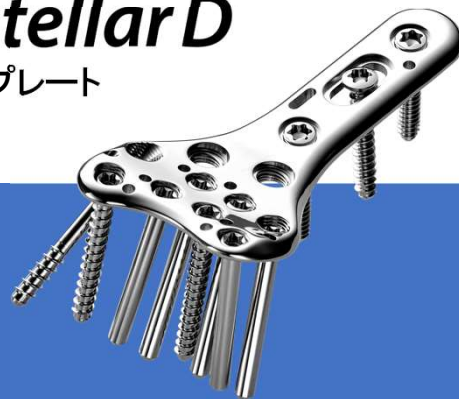
問い合わせ先：Email : [hots-seminar-info@hoya.com](mailto:hots-seminar-info@hoya.com) TEL : 03-5369-1710



New  
**HTS Stellar P**  
近位設置型プレート



New  
**HTS Stellar D**  
遠位設置型プレート



## HTS Stellar P/Dプレートによる橈骨遠位端骨折骨接合術ワークショップ -術前計画の実践-

東京医科大学茨城医療センター 整形外科  
吉井雄一

掌側ロックングプレート（volar locking plate, 以下VLP）の登場により橈骨遠位端骨折における骨接合術は劇的に変化した。VLPの利点は、脆弱性骨折や粉碎した骨折にも強固な固定ができることにある。近位設置・遠位設置、Rimプレートなど各メーカーが特徴的な形状を有するプレートを開発し、日常診療に使用できるようになっている。一方で、どの骨折型にどのプレートを適用するか、あるいは各プレートの至適設置位置については、多様な形状のために共通認識がない。そのため、演者は骨折治療における3D術前計画を導入し、各骨折型に対して術前にインプラントサイズ、最適設置位置に関する検討を行ったうえで骨接合術を行ってきた。

これまでの結果から、3D術前計画は適正なインプラント選択をサポートし、術中のX線透視時間の短縮・術後矯正損失の低減に有用であることがわかった。Stellar 2は従来、単軸型の近位設置型プレートであったが、2020年に遠位設置および多軸型の選択が可能なStellar P/Dプレートを上市した。本ハンズオンでは、実際の骨折モデルを用いて、3D術前計画によるStellar P/Dプレートの選択、術前計画を再現する手順を実践する。